

学生・院生のみなさん 「第2回 地域環境学習経験交流ワークショップ」に参加してみませんか!?

東京学芸大学で実施している現代GPプロジェクト「持続可能な社会づくりのための環境学習活動」(多摩川エコモーション)の一環として、以下の通り「第2回 地域環境学習経験交流ワークショップ」を開催することになりました。地域環境の特色を生かした学習活動や、学校と地域の連携について、実践事例を学び、実際に活動されている学校教員や行政職員、市民団体のみなさんと知り合うことができる貴重な機会です。関心のある学生のみなさんの参加をお待ちしています。

主催：東京学芸大学 地域と連携した環境学習推進委員会

趣旨・目的：小金井市・国分寺市・小平市（以下、三市という）の学校教育および生涯学習で実施されている地域環境学習の実践について事例を紹介し合い、情報交換・経験交流を図ることを目的とする。第1回ワークショップ（7月30日開催）では、「三市における地域環境学習の課題やそれに係る情報を共有することが、今後の教育活動や地域活動、環境活動に広がりを持たせることにつながる」という意見が多く出た。続く第2回ワークショップでは、「どのような情報が必要なのか。そして、それらの情報をどのように収集し、共有するのか。」について議論する。

※地域環境学習とは：地域の特色に着目・地域の特色を活かす視点から実施される環境学習。

開催日程・会場：平成20年11月4日（火）14時30分～17時00分

東京学芸大学 20周年記念飯島会館 2階 第4会議室（小金井キャンパス正門左手）

※ 年度末に第3回（平成20年度中に計3回）の開催を予定。

※ 平成21年度以降のワークショップ継続については、平成21年3月の段階で判断する。

プログラム（予定）：

14:30～ 主催者挨拶／趣旨説明

14:35～ 地域環境学習実践事例の報告（各事例15分ずつ：彦坂和夫氏（野川ほたる村）、藤崎正男氏（みんなで作る野川ピオトープの会）、鈴木忠司氏（小平第四小学校支援者）

15:30～ 第2回 地域環境学習経験交流ワークショップ

＜議論のポイント＞

- ・どのような情報が私たちに必要なのか。
- ・それら情報をどのように収集するのか。
- ・収集した情報をどのような方法で共有するか。

17:00 終了

参加者：

- ・三市で地域環境学習を実践している、もしくは関心のある小学校教員、中学校教員、教育委員会担当者など学校教育関係者。各市から3名～。
- ・三市において特に学校で地域環境学習の教育実践を行っている社会教育関係者、市民団体等。
- ・本学の教職員および学生。
- ・その他。

参加申込み：参加したい学生は、10月28日（火）までに押田（連絡先下記）まで、電話・メールなどで、「氏名・専攻学年・メールアドレス」を連絡してください。

事務局連絡先：

東京学芸大学 環境教育実践施設 2階コンピューター室 多摩川エコモーション事務局

環境学習推進専門研究員 押田 佳子 k-oshida@u-gakugei.ac.jp 電話：042-329-7862

